



慶應義塾大学外国語教育研究センター主催

Academic Writing Contest 2010 応募要領

A) 課題

特定のテーマは設定しません。アカデミック・ライティングのテーマとして適当と思われるものを、各自の興味に応じて選んでください。なお、小論文作成の際には、必ずいくつかの先行研究等を参照し、引用して、各自の専門分野に沿った Documentation Style で引用文献を明示してください。

参考 「アカデミック・ライティング」とは？

アカデミック・ライティングとは、あるトピックについて、先行研究や、数的および量的なデータに基づいて、客観的に自己の主張を明らかにする論文を作成することを言います。論文のテーマは各自の興味・主張に基づきますが、先行研究の引用やデータによる学術的な裏づけを行い、読み手を説得する必要があります。そのため、作成にあたっては、論文の研究分野に沿った形で引用を行い、正しい Documentation Style で引用文献を明示することが重要です。その上で研究課題に関して、独自の考えを自分の言葉で読み手を納得させ、その新鮮な考えを展開させることが求められます。

B) 応募資格

慶應義塾に在籍する高等学校生徒・大学学部生・大学院生・通信教育課程在学学生

C) 応募規定

- ・論文の受付は1人1件までです。(同一人で複数の応募があった場合、該当者の応募を無効とします。)
- ・応募論文は以下の各項目に従い、英語でオリジナルの小論文を書き、提出してください。

(1) 原稿の体裁

- (ア) MS-Word 等のワープロソフトにより、
 - ・ 12ポイント
 - ・ Times New Roman もしくはそれに相当するフォント
 - ・ ダブルスペース(1ページあたり18~20行相当)にて作成し、A4用紙の片面に印刷してください。
- (イ) 最初のページの一行目にタイトルのみを記載してください。(氏名や所属は記載しないでください。)
- (ウ) 各ページにページ番号を振ってください。
- (エ) 序論、本論、結論という構成にしてください。
- (オ) 参照資料や参考文献は必ず出典を明らかにし、末尾にリストとして添付してください。また、インターネットからの引用の場合はURLとその取得日も記載してください。参考文献の記述の方法については各自の分野における標準の形式(APA, MLA, Chicago Style など)に従ってください。
- (注) 参考文献リスト作成については、J) “執筆上の注意”を必ず確認してください。
- (カ) 氏名や所属、住所は所定の参加申込書にのみ記入してください。個人的な情報は、小論文本文中に記入してはいけません。

- (2) **語数と枚数** 枚数の制限はありません。以下の通り、部門ごとに定められた語数の範囲内で小論文を作成してください。

高校生部門	1,500語から 2,000語	大学生部門	2,000語から 3,000語
大学院生部門	3,000語以上	通信教育課程部門	2,000語から 3,000語

参考文献のリストは小論文の文字数には含めません。

大学生部門のみ、応募数により“理系”・“文系”の分野に分けて審査する場合があります。



(3) 提出書類

- a) 参加申込書(外国語教育研究センターWeb ページ・事務室配布の所定用紙)
(10月1日からの配布です。)
- b) 小論文

上記 a)b)共に、**電子データ**、**紙データ**の2つの形式で2段階の提出をしてください。

電子データの提出

- ・電子メールに添付して提出してください。

送付先: <works-flang@adst.keio.ac.jp>、件名(Subject):「AWC 応募」、メール本文中に必ず<1>
学籍番号・<2>所属・<3>学年・<4>氏名(漢字)・<5>氏名(ローマ字)を記入してください。

- ・CD-R 等のメディアによる提出も受け付けます。その場合は窓口に直接提出してください。但し、メディアの返却はできません。USB フラッシュメモリ等によるデータの受け渡しには対応できません。

紙データの提出

- ・添付ファイルで提出した小論文を A4 用紙(片面)にプリントアウトし、ホッチキスで左上を留めて、コピーを5部作成し、**合計6部(正1部、副5部)**を窓口に提出してください。

(4) 受付期間 2010年11月4日(木)10:00~11月12日(金)16:30

(5) 受付開始前・終了後に応募された書類はすべて無効となりますので、ご注意ください。

(6) 提出先

外国語教育研究センター事務室窓口(日吉キャンパス:第3校舎2階 三田キャンパス:第1校舎1階)に提出してください。郵送での提出は下記の住所へ 11月12日(金)必着で送付してください。

D) 賞

- (1) 所長賞 賞状および副賞として賞金5万円(2010年度応募者全てより1名、該当者がいない場合もあります。)
- (2) 部門賞 賞状および副賞として賞金2万円(部門別各1名)
- (3) 次席 賞状および副賞として賞金1万円(部門別若干名)

(2)および(3)については、高校生・大学生・大学院生・通信教育課程の部門ごとに選定します。

E) 審査 本コンテストの審査は、慶應義塾大学の専任教員により厳正なる審査が行われます。

F) 結果発表 2010年12月17日(金)(予定) 外国語教育研究センターWeb サイト・キャンパス内掲示板など
審査の状況により、結果発表と授賞式の日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

G) 授賞式 結果発表時に入賞者に連絡をいたします。会場は日吉キャンパス内で行います。

H) 参考文献 当センターweb サイト上 <<http://www.flang.keio.ac.jp/>> に掲載しています。

I) その他

- (1) 提出する小論文は、他のコンテストや学会、雑誌(電子ジャーナルを含む)等、公の場には未投稿・未発表のものに限ります。
- (2) 著作権は著者に帰属するものとします。ただし、応募した小論文を、外国語教育研究センター主催のワークショップ等イベントで利用する際には著作権を無償利用させていただきます。
- (3) 入賞小論文は外国語教育研究センターのホームページに掲載されます。
- (4) 提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。
- (5) 過去に開催した「英語小論文の書き方」ワークショップ当日の様相を収録したビデオを日吉キャンパス第3校舎内の外国語ラウンジで視聴することができます。希望者は、日吉キャンパス第3校舎、外国語教育研究センター事務室までお越しください。



J) 執筆上の注意

本コンテスト応募論文に限らず、レポート・論文の執筆にあたっては、書き方のルールを守って執筆を行ってください。

- ・自己の主張文と他者の引用文は明確に分けて記載する。
- ・他者の主張を引用する場合は、必ず出典を明らかにし、参考文献リストに記載する。
- ・引用・参考文献リストの記載は、各自が使用する Documentation Style の方式に従って記載する。
- ・インターネットからの引用の場合、引用ページの URL と取得日を参考文献リストに記載する。

これらの執筆にあたってのルールが守られない場合は、剽窃(盗作)とみなし、本コンテストの審査対象から除外します。また、明らかな剽窃(盗作)と審査委員会で認められた場合は、応募者の所属する高校、学部、研究科等へ外国語教育研究センター所長より通告いたします。

インターネットに発表されている研究論文をそのままコピー & ペースト(多少の手を加えたり、アレンジしたり)して論文を作成、提出することは、剽窃(盗作)行為となります。剽窃(盗作)は著作権の侵害であり、定期試験での不正行為と同様の扱いとなります。

他者の研究論文を引用する際は、ルールに従った記載を必ず行いましょう。

引用の仕方については別紙の参考文献一覧の書籍を参照してください。

＝ 問合せ・応募先 ＝

慶應義塾大学外国語教育研究センター AWC 担当

E-mail: works-flang@adst.keio.ac.jp URL : <http://www.flang.keio.ac.jp/> 電話: 045-566-1031

住所 〒223-8521 横浜市港北区日吉 4-1-1

以上